

音楽とはどんな芸術か

芸術班

- ・発表
- ・プリント
- ・進行

- ・音楽を作曲家はどう考えているか
ベートーヴェンを例に挙げる

《ベートーヴェンの生い立ち》

- 1770 ドイツのボンで生まれる 本名ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン
- 1775 父について音楽を学び始める
- 1778 最初のピアノ独奏会をケルンで開催
- 1787 モーツァルトに出会う 母マリア・マグダレーナ死去
- 1792 ウィーンで活動開始
20代後半より難聴が徐々に悪化
- 1802 耳の故障と失恋のため二人の弟に「ハイリゲンシュタットの遺書」を書く
- 1808 交響曲第5番（運命）を作曲
- 1821 浮浪人とまちがえられて留置される
- 1827 ベートーヴェン死去

- ・交響曲第5番（運命）からベートーヴェンの気持ちを読み取る
「暗から明へ」

- 第1楽章
- 第2楽章
- 第3楽章
- 第4楽章

『音楽が表すものは「ものの見方や考え方」ではなく、ありのままの事実だ』

ーベートーヴェン

『音楽が音や旋律を用いて表すものは世界そのものの本質であり、物自体であるが、これを概念を用いて示すのが哲学である。』

『音楽は端的に物自体の表現であって、この点で他の一切の芸術とは異なる。』

ーショーペンハウアー